

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-505092(P2005-505092A)

【公表日】平成17年2月17日(2005.2.17)

【年通号数】公開・登録公報2005-007

【出願番号】特願2003-533274(P2003-533274)

【国際特許分類】

**G 1 1 B 7/244 (2006.01)**

**G 1 1 B 7/254 (2006.01)**

**G 1 1 B 7/257 (2006.01)**

**G 1 1 B 7/24 (2006.01)**

**G 1 1 B 7/135 (2006.01)**

**G 1 1 B 7/26 (2006.01)**

【F I】

G 1 1 B 7/24 5 1 6

G 1 1 B 7/24 5 3 4 B

G 1 1 B 7/24 5 3 4 C

G 1 1 B 7/24 5 3 5 C

G 1 1 B 7/24 5 3 5 G

G 1 1 B 7/24 5 3 5 J

G 1 1 B 7/135 A

G 1 1 B 7/26 5 3 1

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月20日(2005.6.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

場合によっては既に1つ以上の遮断層で被覆され、この遮断層の表面上には、光を用いて記録されうる情報層と場合によっては1つ以上の遮断層と放射線硬化される樹脂を含有する被覆層とが施こされている有利に透明な支持体を含み、情報層上に記録することができ、被覆層を通過するピント調節された青色光、有利に360nm～460nmの波長を有するレーザー光を用いて情報層から読み取ることができ、情報層が光吸収性化合物を含有する光学データ媒体において、少なくとも1つの染料が光吸収性化合物として使用されており、被覆層が10μm～177μmの全厚を有し、設けられたピント調節する対物レンズの開口数NAが0.8以上であることを特徴とする、有利に透明な支持体を含む光学データ媒体。

【請求項2】

請求項1記載の光学データ媒体の製造法において、場合によっては既に遮断層で被覆された、有利に透明な支持体に、染料を、場合によっては適当な結合剤および添加剤ならびに場合によっては適当な溶剤と組み合わせて塗布し、次に場合によっては遮断層を備えさせ、さらに中間層およびその後放射線で硬化される放射線硬化可能な樹脂を含有する被覆層を備えさせることを特徴とする、請求項1記載の光学データ媒体の製造法。

【請求項3】

青色光、好ましくはレーザー光、殊に360nm～460nmの波長を有するレーザー光を用いて請求項1記載の光学データ媒体上に記録することによって得ることができる、記録可能型の情報層を有する光学データ媒体。